

大学の世界展開力強化事業 中間評価調書（案）

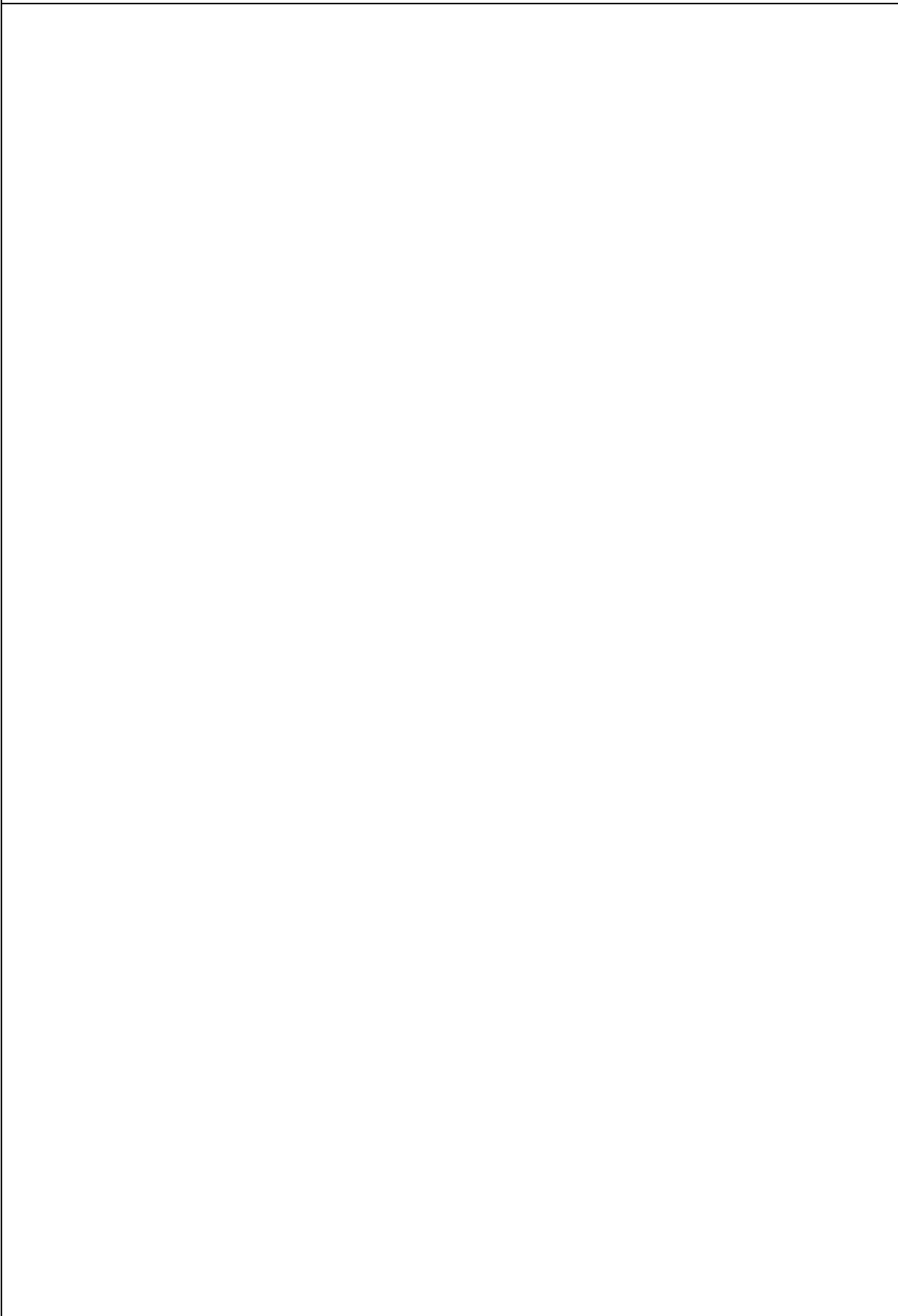
大 学 名		機関番号	
申請タイプ-種別			
構 想 名 等			
学 長 名			
構 想 責 任 者	(氏名)	(職名)	
国内参加大学			
取組学部・研究科等名			
相手大学等名(国名)			

事 務 担 当 者	(氏名)	(職名)	
連 絡 先	(住 所) 〒		
	(電話番号)	(E-mail)	

※中間評価調書の内容等について連絡のとれる事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名を記入してください)。
また、連絡先E-mailについては、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

構想の目的及び概要 (構想調書からの転載)

構想の概念図 (構想調書からの転載)



中間評価までのアクティビティ

平成 年 月

平成 年 月

1. 交流プログラムの枠組み

申請時の構想	構想の実施状況
	<p data-bbox="1137 268 1415 295">【平成24年度末までの取組状況】</p> <p data-bbox="1137 997 1258 1024">【今後の展望】</p>

2. 質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組みの形成

申請時の構想	構想の実施状況
	<p>【平成24年度末までの取組状況】</p> <p>【今後の展望】</p>

3. 外国人学生の受入れ及び日本人学生の派遣のための環境整備

申請時の構想	構想の実施状況
(1) 外国人学生の受入れのための環境整備	<p>【平成24年度末までの取組状況】</p> <p>【今後の展望】</p>
(2) 日本人学生の派遣のための環境整備	<p>【平成24年度末までの取組状況】</p> <p>【今後の展望】</p>

(3) 関係大学間の連絡体制の整備

【平成24年度末までの取組状況】

【今後の展望】

5. 留意事項への対応	
審査結果表〔留意事項（改善を要する点、留意すべき点）〕	留意事項への対応状況
	<p>【平成24年度末までの取組状況】</p> <p>【今後の展望】</p>

②中間評価までの達成目標（事業開始～平成24年度まで）

【平成24年度末における目標の達成状況】

【今後の展望】

③ 本構想において海外に留学する日本人学生のうち、一定の外国語力スタンダードをクリアした学生数の推移

(i) 外国語力スタンダードの基準とする内容

【平成24年度末における目標の達成状況】

(ii) 本構想における達成目標

(事業開始～平成27年度までの数値目標を示し、複数の基準を設けている場合はそれぞれの目標を明示すること)

(iii) 中間評価までの達成目標

(事業開始～平成24年度までの数値目標を示し、複数の基準を設けている場合はそれぞれの目標を明示すること)

【今後の展望】

(iv) 外国語力スタンダードの基準を定めた考え方及び目標達成までのプロセス

④ 本構想において海外に留学する日本人学生数の推移		
現状（平成23年5月1日現在）	0 人	左記の達成目標に対する実績
本構想における達成目標（事業開始～平成27年度まで）	【数値目標】 40人(延べ数)	【数値実績】 (記載不要) 人(延べ数)
中間評価までの達成目標（事業開始～平成24年度まで）	【数値目標】 5人(延べ数)	【数値実績】 ●人(延べ数)
(i) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（本構想全体、中間評価までの双方について）		【平成24年度末における目標の達成状況】
		【今後の展望】

⑤ 本構想において受け入れる外国人学生数の推移			
現状（平成23年5月1日現在）		0人	左記の達成目標に対する実績
本構想における達成目標（事業開始～平成27年度まで）	【数値目標】	40人（延べ数）	【数値実績】（記載不要）人（延べ数）
中間評価までの達成目標（事業開始～平成24年度まで）	【数値目標】	10人（延べ数）	【数値実績】 ●人（延べ数）
(i) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（本構想全体、中間評価までの双方について）		【平成24年度末における目標の達成状況】	
		【今後の展望】	

⑥交流する学生数について(A-I 日中韓のトライアングル交流事業)※

[大学名]

(中国側大学)

(韓国側大学)

[構想名]

1. 構想全体における交流学生数(実績)

(単位:人)

平成23年度		平成24年度	
受入	派遣	受入	派遣

2. 奨学金・宿舍提供の状況

(単位:人)

(1)奨学金を受けている学生数		平成23年度		平成24年度	
		受入	派遣	受入	派遣
内 訳	日中韓三国共通の財政支援受給者				
	大学による奨学金				
	その他の奨学金				

(2)宿舍(大学所有の宿舍、大学借り上げによる宿舍等)を提供されている学生数		平成23年度		平成24年度	
		受入	派遣	受入	派遣

※本調書は「「キャンパス・アジア」モニタリング自己分析書別添資料 基礎データ票」に記載の内容を転載ください。

[大学名]

(中国側大学)	(韓国側大学)
[構想名]	

[構想名]

3. 個別の交流プログラムの概況

※色の見方



外国人学生の受入れ(中韓⇒日本)



日本人学生の派遣(日本⇒中韓)

受入/ 派遣	相手国	平成23年度				平成24年度							
		第3四半期		第4四半期		第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期	
受入	中国												
	韓国												
派遣	中国												
	韓国												

外国人学生の受入れ(中韓⇒日本)							日本人学生の派遣(日本⇒中韓)								
No.	交流期間		派遣元	交流内容	取得可能 単位数	学生交流数		No.	交流期間		派遣先	交流内容	取得可能 単位数	学生交流数	
	始期	終期				計画値	実績		始期	終期				計画値	実績

⑥交流する学生数について(A-II、B-I、B-II各事業)

(i) 構想調書で計画した交流学生数

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
受入れ学生数					
派遣学生数					

(ii) 中間評価までの交流学生数の実績と計画

- ① 単位取得を伴う交流期間3ヶ月未満の交流人数、 ② 単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流人数
 ③ 上記以外の交流期間3ヶ月未満の交流人数、 ④ 上記以外の交流期間3ヶ月以上の交流人数

1. 【代表申請大学】

大学名		平成23年度		平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
交流プログラム名(又は相手大学名)	交流方向	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期
	1	受入																	
派遣																			
2	受入																		
	派遣																		
3	受入																		
	派遣																		
4	受入																		
	派遣																		

2. 【国内連携大学】

大学名		平成23年度		平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
交流プログラム名(又は相手大学名)	交流方向	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期
	1	受入																	
派遣																			
2	受入																		
	派遣																		
3	受入																		
	派遣																		

3. 【国内連携大学】

大学名		平成23年度		平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度			
交流プログラム名(又は相手大学名)	交流方向	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期
	1	受入																	
派遣																			
2	受入																		
	派遣																		
3	受入																		
	派遣																		

(大学名:) (申請区分:)